

予算審査特別委員会

第45号議案・平成19年度白石市一般会計補正予算(第1号)及び第46号議案・平成19年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、第47号議案・平成19年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号)の3議案については、定例会第2日(6月13日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長 安藤佳生、副委員長 制野敬一)で、6月14日に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で論議された主な点は次のとおりです。

総務財政所管

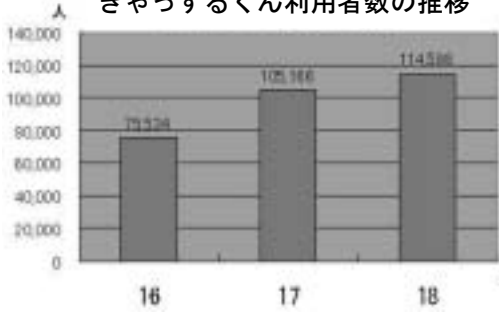
〔質疑〕市民バスの1日の平均利用者数と、目標利用者数について伺いたい。

〔答弁〕平成18年度については、11万4千5百98人の利用者で、1日当たりの利用者は4百67人となっている。

目標数は、平成16年度までは、事業委託及び患者輸送バスの利用者数は7万5千人だったので、それらの利用者の足を確保することが目標だった。

開業初年度の平成17年度は、平成16年度比で2万9千6

きやつするくん利用者数の推移



百32人の増で、平成18年度が同年度比3万9千64人の増加となっている。

建設産業所管

〔質疑〕南奥羽地域鳥獣害防止広域対策協議会について、対象鳥獣害が拡大されたのか伺いたい。

〔答弁〕これまで、宮城県と福島県の2県で鳥獣害防止広域対策を行っていたが、これらの被害は広域化しており、今回山形県も含めた3県で取り組むものである。また、被害のほとんどは猿によるものである。

〔質疑〕中山間地域で苦勞しているのが、猿等による被害拡大である。これらは、保護獣ということで、簡単に駆除できず、花火で威嚇している。この花火の購入について市の補助あるいは助成ができないか伺いたい。

〔答弁〕猿を追い払う場合、花火が効果的であり、各地域の猟友会、または個人から農林課に要望があった場合、現物を支給している。

なお、猿に対してテレメトリという発信機をつけて、どのような行動をしているのか調査するため、南奥羽地域

6月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第36号	市長提案 ●人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第37号	和解及び損害賠償額の決定について	同意
第38号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及びそれに伴う規約の変更について	原案可決
第39号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及びそれに伴う規約の変更について	原案可決
第40号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及びそれに伴う規約の変更について	原案可決
第41号	選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第42号	白石市心身障害児通園施設条例の一部を改正する条例	原案可決
第43号	白石市交通安全対策会議条例の一部を改正する条例	原案可決
第44号	白石市道路線の認定について	原案可決
第45号	平成19年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第46号	平成19年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第47号	平成19年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第4号	議員提案 ●どの地域でも格差のないゆき届いた教育を保障するために、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	原案可決
第5号	公契約における適正な労働諸条件の確保を求める意見書	原案可決
第6号	最低賃金の水準引き上げを求める意見書	原案可決
第7号	道路整備促進に関する意見書	原案可決
第8号	消費税率引き上げに反対する意見書	否決
第1号	請願 ●水質汚濁防止法による特定施設の届け出事項の遵守に関する請願	継続審査